

2020年10月7日
株式会社東急イーライフデザイン
株式会社光が丘ヘルスケア

～重ねた人生に、さらなる磨きを～

介護付有料老人ホーム「光が丘パークヴィラ」の増築工事が完了

増築棟へ入居開始、中間期介護機能スタート

株式会社東急イーライフデザイン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：林 靖人）の子会社である株式会社光が丘ヘルスケア（本社：東京都練馬区、代表取締役：林 靖人）が所有・運営する介護付有料老人ホーム「光が丘パークヴィラ」は、8月31日にシニア住宅東棟と共用棟の増築工事が完了し、9月よりシニア住宅東棟の入居及び共用棟での中間期介護※サービスを開始しましたためお知らせいたします。

※「シニア住宅」と「ケアセンター」の中間的な位置づけの施設



「シニア住宅東棟」外観



「共用棟」外観

1. 増築棟への想い ～人生100年時代にふさわしい新しいシニア向け住宅～

光が丘パークヴィラは医師である中村 美和（元代表取締役、現顧問）が、生活支援から介護・看護・医療支援・終末期介護まで、一体で提供できるシニア向け住宅を目指し1985年に開設しました。

「ホテルの機能性、マンションの気安さ、家庭の味、そして病院の機能※」をキャッチフレーズに日々サービスを提供しております。日常生活において、ご入居者のご要望に対する、目配り・気配り・心配りを欠かさず、きめ細かな対応をすることで不安から解放され、明るく過ごせる住宅づくりを行っています。

2019年6月、東急不動産ホールディングスにグループ入りをし、グループの有する不動産開発ノウハウやリソースを用いて、より広いお部屋やADLの程度、認知症の度合い等に合わせたサービス提供が可能な増築棟の工事を進めて参りました。

本住宅の創立当時に思い描いた「長く安心して過ごせる場所」というコンセプトを大切に守りつつ、人生100年時代にふさわしい、新しいシニア向け住宅と、ご入居者の状況に合わせた最適サービスの提供を追い求めて参ります。

※本住宅に併設された協力医療機関との医療連携を行っております。



中村 美和（顧問、医学博士）



2. シニア住宅東棟の増築 ～お二人でも広々過ごせる居室～

シニア住宅東棟の増築により、2ベッド設置可能な、専有面積 53.44㎡～62.68㎡（1LDK 又は 2LDK）の居室、計 18 室が完成いたしました。本住宅がこれまで提供してきた、約 40㎡、49㎡の比較的小さいタイプの居室に加え、広いお部屋やお二人でのご入居などさまざまな生活ニーズに応えるお部屋をご用意しております。

国内におけるシニア向け住宅の先駆けである本住宅で、35年の運営実績とノウハウを享受しながら、新築のお部屋に住むことが可能です。また、都内で有数の広さを誇る、都立光が丘公園に隣接した配棟計画により、居室から四季の移り変わりや自然を楽しむことができます。

既存のシニア住宅と同様に共用部分の使用や、ケアが必要な方は常時介護の体制が整うケアセンターへの移り住みも可能です。



「シニア住宅東棟」モデルルーム

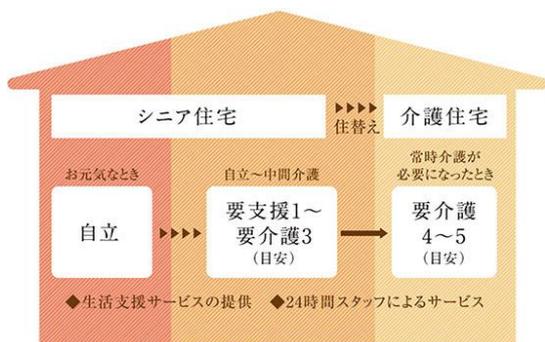


「シニア住宅東棟」屋上テラス

3. 共用棟の増築 ～中間期介護を実現～

人生 100 年時代を迎え、平均年齢も上がり老後の期間が長くなる中で、ご入居者により安心してお過ごしいただける共用棟を開業いたしました。今回増築した共用棟は、「シニア住宅」と「ケアセンター」の中間的な位置づけの中間期介護エリアとして、日中シニア住宅でお過ごしいただくことに不安がある方や、ご病気や怪我の回復途上で手厚い見守りが必要な方が対象の施設です。デイルームや多目的ホールでリハビリ体操や作業療法、TV鑑賞、音楽、コーラスなどのアクティビティを行ない、居室に籠らず、楽しい時間が過ごせるサービスを提供いたします。

共用棟の増築により、自立期・生活支援や医療支援を受ける時期・手厚い介護や看護が必要な時期、さまざまな段階に応じた生活をお送りいただける体制が整いました。また、暮らす環境を大きく変えることなく、慣れ親しんだスタッフのもとで安心して長くお過ごしいただけるとともに、今後予想されるより一層の介護人材不足にも対応できる住居を実現いたしました。



中間期介護のイメージ



共用棟 1階デイルーム



4. 物件概要

増築棟概要	
竣工時期	2020年8月
延床面積	合計：2,369.28㎡ シニア住宅東棟：1,530.81㎡ 共用棟：838.47㎡
設計会社	株式会社東急設計コンサルタント
施工会社	北野建設株式会社
増築居室数	18室
居室面積	53.44㎡～62.68㎡、1LDK又は2LDK
主な共用部分	デイルーム、多目的ホール、介護浴室、屋上テラス等

※介護住宅の居室増設は、別途工事として今後予定しております。

増築後の物件概要（2020年9月時点）	
所在	東京都練馬区旭町二丁目9番13号
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階
設計・施工	シニア住宅・ケアセンター：株式会社竹中工務店 東棟・共用棟：株式会社東急設計コンサルタント 北野建設株式会社
敷地面積	10,500.80㎡（3,176.49坪）
延床面積	12,340.41㎡（3,732.97坪）
竣工年月	シニア住宅：1985年3月 ケアセンター：1994年7月 東棟・共用棟：2020年8月
総戸数	総室数：139室（シニア住宅：119室、介護住宅：20室）

【公式ホームページ】 <https://www.grancreeper.com/hikarigaoka/>

5. 東急不動産ホールディングスグループが取り組むSDGs

東急不動産ホールディングスグループは、2015年に国連サミットで採択された2030年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献していきます。シニア向け住宅は、ご入居者の健康を守ることで健康寿命の延伸を図り、SDGsゴール3「すべての人に健康と福祉」を目指しております。

また、高齢になっても慣れ親しんだ地域や住みたい街に安心して住み続けられることに貢献し、SDGsゴール11「住み続けられるまちづくりを」を目指しております。



※SDGs…「持続可能な開発目標」は国連加盟193ヶ国すべてが合意する世界共通の目標で、世界で起こるさまざまな問題を背景に、2015年に国連サミットで採択されました。2030年前の達成を目指し、17の大きな目標と169の具体化した目標で構成されています。東急不動産ホールディングスとしても、事業を通じて取り組む目標を設定しています。



6. 現地案内図



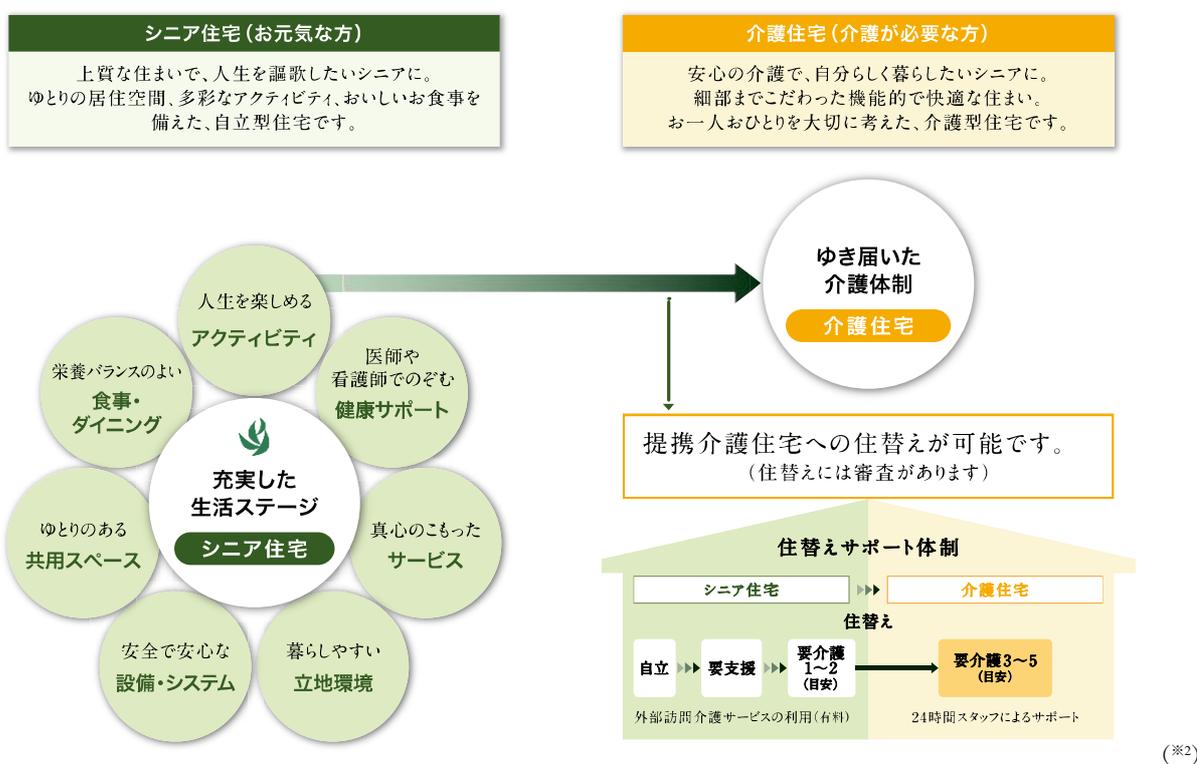
7. 「グランクレール」シリーズについて



◆ 「グランクレール」シリーズのコンセプト

「グランクレール」シリーズは、「私らしくを、いつまでも。」を事業ステートメントに掲げる、シニアのためのライフステージです。東急不動産ホールディングスグループが長年の住宅づくりで培ったノウハウとグループ力を結集し、健康な方が充実した日々を謳歌するシニア住宅、介護が必要な方のための介護住宅、同一敷地内にシニア住宅と介護住宅を併設した住宅を展開しております。人生の円熟期を迎えた方々に、安心・安全・快適で質の高いシニアライフ住宅を提供すること、それが「グランクレール」シリーズの考える新しい住まいの形です。

【グランクレール公式サイト】 <https://www.grancreer.com/>

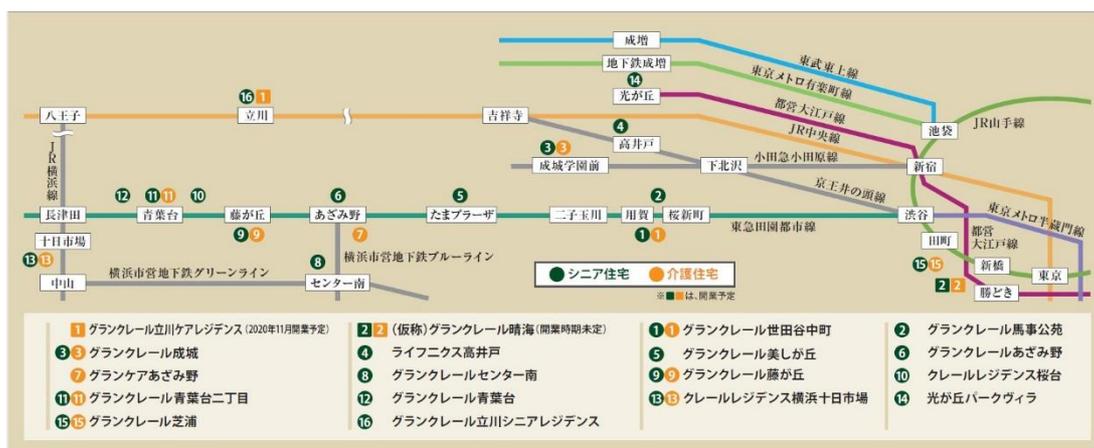


(※1) 各住宅や契約内容等により、建物の設備や仕様、提供するサービスの内容は異なります。詳しくはお問合せください。

(※2) 介護の状況によって、事業者とご入居者の合意により介護住宅へ移り住んだ場合、シニア住宅の利用に関する権利は終了します。介護住宅では1人あたりの専有面積が減少し、介護住宅が定める費用をお支払いいただきます。



◆展開エリア・住宅一覧 (2020年9月末時点)



「大いなる安心」という名をもつ、シニアのための住まい「グランレール」シリーズは、2004年「グランレールあざみ野」の開業を皮切りに、東京・神奈川で20住宅・約1,880室を展開しています。(2020年9月時点)

<本件に関するお問い合わせ先>
 株式会社東急イーライフデザイン 開発本部 田苗、寺尾
 TEL : 03-6455-1129 FAX : 03-6455-0318

